西福寺寺報 道 － michi －
2026（令和８）年 御正忌号

回る時計の針は、昨日と同じ時間を繰り返していることを意味しない。針が動くたび、内部には小さな変化が蓄積されている。私たち人間が生きる世界は、今も着実に小さな変化を積み重ねているのだ。
（渋谷圭一郎『瑠璃の宝石』）

浄土真宗本願寺派
（本山：西本願寺）
多聞山
西福寺
〒739-0152
東広島市八本松町吉川 153-2
TEL：082-429-1038
FAX：082-429-1398
[redacted]

（今回の法座）
御正忌法座

1月20日（火）昼席（13:00～15:30ごろ）
夜席（19:30～21:00ごろ）
21日（水）朝席（09:00～11:30ごろ）
昼席（13:00～15:30ごろ）

ご法話	本当に大切なもの
講　師	**高山智史**さん（安芸太田町戸河内常慶寺） 本願寺派布教使。 今年還暦を迎えます。昨年は、病院通いの日々が続きましたが、お念仏と向き合う大切な時間をいただきました。

YouTube でのお聴聞は、下の QR コードですぐにできます。

20日昼席	20日夜席	21日朝席	21日昼席

仏教婦人会月例法話会
（お寄り講 13:30~15:00）

2月4日（水）
西福寺庫裏（清水原担当）
3月18日（水）
西福寺庫裏（戸坂担当）
4月28日（火）29日（水・祝）
仏教婦人会法座併催

お経会（大人の寺子屋）
（毎月第３木曜日 13:30~15:00）

『正信念仏偈』を読む
1月お休み
2月19日
3月19日
4月16日

オアシス法話会
（毎月第４木曜日 13:30~15:00）

『仏さまの言葉を生きる』
1月お休み
2月26日
3月26日
4月お休み

土　曜　学　校
（毎月第２土曜日 9:00~10:00）

2月14日
3月14日
修了式
4月11日
5月9日

最初の一歩
はじめての法座ガイド（初参拝の方へ）
- 服装自由・手ぶら OK（聖典／念珠／門徒式章はあれば）
- 途中入退堂 OK／イス席あり／焼香は周りをみながらでも大丈夫
- 配信の見方も含め、困ったらお気軽にお問い合わせください。

※お布施（ご法礼）のお預けは任意です。

寺報を読み終わった後は、しまい込まないで、ご家族みんなでご覧ください。子どもさん、お孫さん世帯など用に２部以上必要な方は、お知らせください。

お寺だより

法座

12月2・3日
報恩講法座
【ご法話】「節談説教―不来迎の談、平生業成の義なり」
高山泰秀さん（広島市佐伯区湯来町　一松寺）
【お勤め】〔2日夜〕『往生礼讃偈（初夜）』『御伝鈔』下巻第6段〔3日朝〕『正信念仏偈（行譜）』〔3日昼〕『三奉請』『表白』『正信念仏偈（行譜）』『御伝鈔』上巻第7段・下巻第6段
【参拝者】68名（3席のべ人数）
【ご法話】
2日夜席のご法話をダイジェストで掲載します。

〔ご讃題〕
真実信心の行人は、摂取不捨のゆゑに、正定聚に住す。
このゆゑに、臨終まつことなし、来迎たのむことなし。信心の定まるとき往生また定まるなり。来迎の儀則をまたず。
（『親鸞聖人御消息　第一通』）

報恩講は、私どもにとって一番大事な仏事で、親鸞聖人のご遺徳を偲ぶご法座です。親鸞聖人の生涯をとおして、この私が、座禅も組まず、一巻の経典も暗唱せず、最大の高枕で、それでも後生の解決に合わせていただけるのはなぜかという、不思議、不思議のお話をさせていただきます。

「真実信心の行人は」と親鸞聖人が語っていかれます。たすけるのお慈悲を「南無阿弥陀仏」と名号に聞いて、たすかると喜ぶ人は、摂取不捨の故に正定聚に住す。仏さまの仲間に定まるということです。今はまだ、臨終の一念に至るまで煩悩というは無くならない身でありますが、この命が枯れたその時には、即座に必ず大きな大きなお浄土に生まれて仏さまの仲間に加えていただく。その証拠を今、「南無阿弥陀仏」の名号に聞いておりますというのが、真実信心の行人です。

学校に行けない子がおりました。フリースクールに行った時、校長先生が抱きしめて、「もうこれで安心して絶望していいよ」と言った。「安心して絶望できる」とは、相反する世界。これですよ、宗教の本質は。自分から「こうせな、こうせないけん」と思案しとったら、そうじゃなかった。もう間に合うとったんだ。その証拠を念仏に聞いて、「たすかるばかり」と聞いたら、もったいない。「そのまま来い」と喚んでくださいます。そこには大慶喜心が起こり、報恩の行としての「南無阿弥陀仏」だ。私どものお念仏は全部「お礼」です。それゆえに死んでからどうのこうのっていう教えじゃない。今、ここでの救い、平生業成の義なりとはっきり言うておられるのです。

親鸞聖人のお弟子に、覚信房さんというお弟子がおいでになった。この方は晩年、重い病を得ながら、それでも親鸞さまの傍で死にたいと、下野国（現在の栃木県）から病の体を押して都へ上がっていかれます。家族が止めても、「一歩でもお師匠の近くへこの身を行かせてくれ。もし途中で命ついなば、そこらの草葉へ放り投げろ。かしら都の方へ向けて手を組みして放り投げてくれたらいい」と涙ながらに訴え、ついに上洛を果たすんです。

しかし、病魔が五体を蝕んでおり、すぐさま床に伏します。出ずる息、入る息、その合間には常に念仏の息がありました。親鸞聖人がお見舞いにおいでになって、「覚信よ。親鸞が参ったぞよ」と大きな声で呼ばれます。覚信房は念仏の息でしたが、若いお弟子が「お念仏も結構ですが、まずは一言ご挨拶を」と催促しました。正しいことやったんですよ、けれども厳しいね。しかし、親鸞さまは制されまして、「覚信よ、ええよ。念仏を称えなさいよ」とおっしゃり、こうお尋ねになった。「その念仏、一体いかなる了見で称えておるのかや。もしや、この先はどうなるのやらと恐ろしい思いが膨らんで、自力の念仏を山ほど積んで往生を遂げてみせようと忙しいのか。それで親鸞に挨拶する暇もないわけではあるまいな」と。

覚信房さんは、最後の力を振り絞り、ガバッと親鸞聖人の両膝へ両手を突き立てて言いました。「お師匠よ。

御正忌法座次第

一、お勤め
20日昼席『正信念仏偈』
夜席『しんじんのうた』
21日朝席『正信念仏偈』
昼席『正信念仏偈』
『御俗姓』拝読
一、『浄土真宗の教章(私の歩む道)』
「教義」「生活」「宗門」
一、『聴聞の心得』
一、ご法話前半（約30分）
（休憩10分）
一、仏教讃歌
『旅行くしんらん』
一、ご法話後半（約30分）
※夜席は約40分（休憩なし）
一、『浄土真宗の救いのよろこび』
一、『恩徳讃』

YouTube saifukuji_inweb 最新情報

チャンネル登録者数	656
チャンネル視聴回数	121,920 回
総再生時間	19,574.0 時間

報恩講法座・仏婦報恩講法座アーカイブ
12/02 夜席　12/03 朝席　12/03 昼席　12/17 昼席
（2026/01/05 現在）

最後の最後までのご勧化、まことにもったいなく聞かせていただいておりました。いよいよ大悲のみ親とお遇いできるかと思いますれば、迷いの娑婆もかえって懐かしい。帰るふるさとがあればこそ、ここは懐かしいんですよ」と。「わしゃ名号に遇いましたよ、お師匠。この太郎入道は、汚れきったわが身じゃ。けれども生まれて仏となるこの不思議。すべては名号あったればこそのこの大幸福よ。かくなる上は、この命が枯れ果てるまで、仏恩を報じねばと思いますれば、存分に嫌というほど念仏称えさせてくださいませや」と言い切った。

親鸞聖人はガバーっと抱き留められ、「聞いたか。これこそが弥陀のご本願に遇う他力の喜び、念仏じゃで」と手を握られました。帰るところがあるというのはぬくいですよ。「浄土に遇うたものはかえって穢土に親しみを抱く」と言いますが、しんどかったけども、行くとこがあるというのはなんとも言えん懐かしさがある。

覚信房さまはこの時75歳、親鸞聖人84歳。今ここの救いに遇うとる方はいつでも喜びが訪れます。「お念仏喜ぶ人はいつも育ち盛」、いつも若いのでしょう。覚信房さまが最後に置いて行かれた言葉は、「お願いします」じゃなかった。「南無阿弥陀仏」の名号でした。親鸞聖人は後に、「信心違わずして終わられて候」と、その姿を思い出しては涙がにじんだとおっしゃっています。

真実信心の行人は、大丈夫の身にならしていただいております。だから、来迎を頼む自力念仏に用がない。用があるのはお礼お礼、大慶喜心の発露としての、ありがとうございますのよろこびのお念仏の他に何の用もありません。

「信心の定まるとき、往生また定まるなり」。今ここの平生業成の救いをお聞かせいただくことでございます。

節談説教は、ときおり「節」をつけて語られるご法話です。高座から響く情緒豊かなお話を、ぜひ動画でお聴聞ください。

【感　謝】

吉川地区世話係の皆さま

報恩講法座にあたり、ご懇志のつなぎ、本堂の準備と片付け、おさがり、お斎弁当の準備、などご協力いただき有難うございました。

仏教婦人会

12月17日

仏教婦人会報恩講法座

【参拝者】40名ほど

【お勤め】『正信念仏偈（行譜）』『御伝鈔』上巻第1段・下巻第6段

【ご法話】住職「覚信尼さまの不安」

【感　謝】

役員の皆さま

報恩講法座にあたり、ご懇志のつなぎ、本堂の準備と片付け、おさがり、お斎弁当の準備、などご協力いただき有難うございました。

お経会（大人の寺子屋）

11月20日

【参加者】5名

【お勤め】『正信念仏偈』『正像末和讃』「弥陀の本願信ぜねば　疑惑を帯してむまれつつ　はなはすなはちひらけねば　胎に処するにたとへたり」より6首　『御文章』「末代無智章」（『御文章　ひらがな版』144ページ）

【ご法話】『正信念仏偈』「建立無上殊勝願　超発希有大弘誓」第38願「衣服随念の願」

オアシス法話会

11月13日

【参加者】9名

【お勤め】『正信念仏偈』『浄土和讃』「神力自在なることは　測量すべきことぞなき　不思議の徳をあつめたり　無上尊を帰命せよ」より6首　『御文章』「雪中章」（『御文章　ひらがな版』28ページ）

【ご法話】「あっ、今、救われている」それが信心

土曜学校

12月13日

土曜学校ほうおんこう

【参加者】8名

【お勤め】『正信念仏偈』『御伝鈔』上巻第1段・下巻第6段

【絵　本】『親鸞さま』文／三栗章夫　絵／野村玲　監修／千葉乗隆（本願寺出版社）

安芸教区・東広島組近況

〔本願寺派安芸教区〕

11月13日
教区情報発信に関する研修会

11月18日・12月16日
見真編集会議

11月20日
教区仏教婦人会連盟
実践運動後期研修会

【参加者】栗田美佐江さん

12月8日
安芸教区布教団役員会

2月9・10日
全国布教使研修会

【場　所】西本願寺（京都市下京区）

〔安芸教区東広島組〕

12月26日・1月19日
東広島組役員会

2月2日
東広島組会

【場　所】白竜湖（西条岡町）

住職出講

12月8日
安楽寺きくの会報恩講法座

1月14～16日
光明寺御正忌法座　（呉市川尻町）

2月13日
東広島組寺族婦人会研修会　（高屋東　光乗寺）

2月17・18日
布教団現代布教者育成研修会　（広島市中区　本願寺広島別院）

主催勉強会・研修会

12月18日
第120回聞光の会　（広島市　広島別院共命ホール）

2月20日
第121回聞光の会　（広島市　広島別院共命ホール）

感　謝

寺報発行へのご寄付　３件
ゆうちょ銀行へのご寄付　２件
いつもお心遣いいただき、有難うございます。

初参ご参詣名簿記帳者数（正月三が日）

１７８名
ようこそお参りくださいました。
今年もよろしくお願いいたします。

お寺のホームページをリニューアルしました。

寺報 PDF、浄土真宗のことば入門のまとめ、はじめての方にお寺のことがより伝わるようなページなどを新設しました。ぜひ、８ページの QR を読み込んでご覧ください。

俱会一処

浄土での再会を期して

生前のご苦労を偲び
謹んで哀悼の意を表します。

永

代経とは永代にわたりお経が残り、仏法が伝わっていくということです。

「永代経懇志」とは、先人の残し伝えてくださったみ教えを聴聞する「聞法道場」であるお寺が、永代にわたり存続することを願ってお預けされるお布施のことです。

今を生きる私たちが、先人から受け継いだ教えに出遇うためのご縁を、後世に伝えるためのお布施です。多くは故人の遺志を継いでお預けされますが、事前にお預けくださっても構いません。

⚠故人を永代にわたり追善供養してもらうためではありません。

2025（令和７）年報恩講帳場会計報告

収入の部合計　828,800 円
（内訳）※吉川地区世話係扱い

本堂火災保険金掛金	364,500 円
護　持　金	122,500 円
御　鉢　米　料	123,000 円
ご　懇　志	108,500 円
ご　法　礼	103,500 円
お　賽　銭	6,800 円
も　ち　米	2 斗

支出の部合計　828,800 円
（内訳）

報恩講法座運営費	340,380 円
本堂火災保険金掛金	364,500 円
護　持　金	122,500 円
繰　越　金	1,420 円

護持金、繰越金は「西福寺報恩講」として管理し、公共スペースの維持費、経年劣化した仏具などの修繕費として使わせていただきます。　　**西福寺住職・総代会**

ペットボトルキャップをワクチンに

安芸教区では、ペットボトルキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを届ける運動をしています。みなさまもぜひ、洗浄済みのキャップをお寺に持ってきてください。住職が広島別院に届けます。ご協力よろしくお願いいたします。

チャンネル登録 よろしくお願いいたします。

YouTube チャンネル「saifukuji_inweb」

こんな方におすすめです！

- 法座にお参りしたいけれど、体調がすぐれず、長時間座っていられない。
- ご法話をもう一度ゆっくりお聴聞したい。
- ご法話に興味があるが、「お寺に行くのはちょっと…」とためらっている。
- 最近、お寺や仏教のことが、なんとなく気になってきた。

まずは配信でご法座の雰囲気を体験してください。

チャンネルではご法座を配信中！

- ご法話だけでなく、お勤めや休憩時間も配信しています。お寺時間をご一緒しましょう。
- 過去のご法座もアーカイブしています。いつでもお聴聞してください。

見方はかんたん！

①「YouTube（ユーチューブ）」を開く。
②「saifukuji_inweb」または「多聞山西福寺」で検索。
③見たい動画を開く。
LIVE 配信中の法座は、LIVE マークが目印。
（任意）登録をすると、更新情報が届きます。

ホームページでも見られます

右の QR →
ホームページ内
YouTube（法座配信）

お手伝いします！

「見方がわからない」「スマホでうまく開けない」そんなときは、お気軽にご相談ください。ご一緒にご案内いたします。

★お問い合わせ★
表表紙の電話番号
裏表紙の連絡先へ
（電話・メール・SNS）

YouTube のお聴聞
（スマホ OK）
□通信料：視聴にはデータ通信料がかかります（Wi-Fi 推奨）

「西福寺はちす墓苑」新規区画・門信徒合同墓利用者募集

〔対象〕西福寺門信徒またはご縁のある方

〔費用〕

【新規区画】永代使用（1m × 2m）30 万円～
永代管理費別／墓石代別

【門信徒合同墓】永代納骨ひとり 5 万円
（4 人以上 20 万円）
納骨後は遺骨のお返しはできません。

一時預かりひとり 1 万円（1 年間）
最長 32 年間まで。

門信徒合同墓

〔問合せ〕詳しいご相談、お申し込みはお寺までご連絡ください。

浄土真宗のことば入門　広辞苑編

けん・じゃ【賢者】（ケンシャとも）
①かしこい人。賢人。
②仏道を修行して、いまだ悟りを得るまでにはいたっていない人。↔聖者

（『広辞苑 第七版』）

「賢さ」が生む孤独や分断

今回は「賢さ」と「愚か」さについて味わいます。

現代社会において「賢さ」の定義は大きな転換期にあります。これまでの「知識の蓄積」や「処理速度」という個人の能力の高さを競う時代から、これからは、「情報を編集し、他者とつなげる力（共創）」や「問いを立てる力」という「賢さ」が求められています。「ワンチーム」という言葉もよく聞かれるようになりました。ところが、「○○ファースト」というスローガンでチームの結束を強くするなかで、チーム以外を敵視し、排除する考えもみられるように感じます。私たちは自分を「賢い（あるいは正しい）」側に置いたとき、反対の者を「愚か」と定義しがちです。自分たちの枠に合わない存在を切り捨てる「賢さ」が、現代を生きる私たちの孤独や分断を深めているのかもしれません。「いつ、自分が排除される側になるかもしれない」「賢くなければ居場所を失うかもしれない」という不安は、いまも昔もかわりません。

ぼんぶ　凡夫
梵語プリタグ・ジャナ（prthag-iana）の意訳。必栗託仡那と音訳し、異生とも意訳する。凡愚ともいう。聖者に対する語。四諦の真理をさとらず、貪・瞋・痴などの煩悩に束縛されて、六道を輪廻する者をいう。

ひそうひぞく　非僧非俗
僧でもなく俗人でもないという、親鸞が示した自身の立場のこと。「化身土巻」に「あるいは僧儀を改めて姓名を賜うて遠流に処す。予はその一つなり。しかれば、僧にあらず俗にあらず。このゆゑに禿の字をもつて姓とす（或改僧儀賜姓名処遠流予其一也爾者己非僧非俗是故以禿字為姓）」とある。非僧とは、承元の法難によって流罪に処された時に僧籍を剥奪されたことから、「僧尼令」にもとづいた国家公認の僧侶でなくなったことをいう。非俗とは、種々に解釈されるが、妻帯をしていても、法衣をつけて、世俗の権勢にこびず、名利をいたむ心をもって念仏者として生きるのだから単なる俗人でもないということとされる。このような宗教的態度を表明するために親鸞は「禿」を姓とし、さらに自身の愚悪を表して「愚禿」と称した。後年は「愚禿釈親鸞」などと自署するが、「愚禿」は「非僧」を示す姓、「釈親鸞」は「非俗」なる仏教徒としての自覚を示す名とみられる。

（『浄土真宗辞典』本願寺出版社）

「愚禿」とし生きるよろこび

親鸞聖人は、人間の真実の姿を「凡夫」あるいは「凡愚」と見つめました。凡夫とは、真理を悟らず、貪（むさぼり）・瞋（いかり）・痴（おろかさ）という煩悩に縛られ、迷い、苦しみをくり返す者を指します。そして、自身を「愚か」な「凡夫」であるといわれました。しかし、それは教えに出遇えたよろこびの言葉なのです。

聖人は修行によって賢くなろう、さとりを得ようとすればするほど、自分の愚かさに突き当たっていかれます。そんななか、法然聖人をとおして、「凡夫」を目当てとしはたらき続けてくださる、阿弥陀仏の大きな智慧と慈悲の心を聞いていかれました。そのことによって、「賢い」「愚か」を問わない揺るぎない救いに出遇っていかれたのです。

ところが、その出遇いはあらたな排除へとつながります。ときの権力から居場所を奪われた親鸞聖人は、そのことにより、社会からも、時には既存の教えからも見捨てられた人々と出会われます。そして、そうした人々とともに、阿弥陀仏の本願を依りどころとして生きる、「愚か」な「凡夫」として歩んでいこうとされました。だからこそ、「愚禿釈親鸞」と名のっていかれたのです。

「凡夫」や「愚か」とは、自分を卑下する言葉ではありません。阿弥陀仏の大きな智慧、慈悲を依りどころとし、「ありのまま」の自分が丸ごと抱えこまれているという安心の中に生きるという、よろこびの表明です。

このことばにより、現代を生きる私たちには、能力や評価という「賢愚」の物差しに振り回されるのではなく、誰もが真の仏弟子「釈○○」として、共に敬い合いながら「いま、ここ」を歩んでいく道が示されていくのです。

今回のまとめ
●「愚かさ」を認めることは、**阿弥陀仏の慈悲に出遇うこと**
●確かな安心のなかに、**お互いを仏弟子とし敬い合う**

浄土真宗のことば入門　『正信念仏偈』その 63

〔本文〕
建立無上殊勝願　超発希有大弘誓
〔書き下し文〕
無上殊勝の願を建立し、希有の大弘誓を超発せり。
（『浄土真宗聖典　註釈版』顕浄土真実教行証文類行文類）

〔現代語訳〕
この上なくすぐれた願をおたてになり、世にもまれな大いなる誓いをおこされた。
（『浄土真宗聖典　顕浄土真実教行証文類－現代語訳』）

第 7 願「設我得仏　国中人天　不得天耳　不至聞　百千億那由他　諸仏所聞　不悉受持者　不取正覚」（天耳遥聞の願）

たとひわれ仏を得たらんに、国中の人天、天耳を得ずして、下百千億那由他の諸仏の説くところを聞きて、ことごとく受持せざるに至らば、正覚をとらじ
（『顕浄土真実教行証文類行文類　浄土真宗聖典註釈版』16 ページ）

わたしが仏になるとき、わたしの国の天人や人々が天耳通を得ず、数限りない仏がたの説法を聞きとり、すべて記憶することができないようなら、わたしは決してさとりを開きません。
（『浄土三部経－現代語訳』〔本願寺出版社〕）

世尊よ。もしも、かのわたくしの仏国土に生まれた生ける者どもが皆、少なくとも百千億・百万の仏国土からでも同時に正しい理法を聞くだけの超人的な聴覚（天耳通）を持っていないようであったら、その間はわたくしは、〈この上ない正しい覚り〉を現に覚ることがありませんように。
（『浄土三部経（上）』中村元・早島鏡正・紀野一義訳注〔岩波文庫〕）

この第七願でとかれる天耳も六神通の一つです。「神通力」の「神」とは「人知以上のものの称」（神秘）の意味もありますが、私は「精神」（心）の「神」と領解し、「神通力」を他の人の精神（心）や気持ちに通じる能力と領受しています。

天眼が智慧の眼であると同じように、天耳は智慧の耳で、自分の都合や他の人の言葉等に惑わされることなく、人の言葉をありのままに聞くことのできる耳をいうのです。

私たちの耳は自分の恣意で聞いたり、周りの人がそれぞれの立場で、いろんなことを言う雑意に耳を奪われて、相手の言葉をありのままに聞くことが少なく、聞き違いがしばしば生じ、争わなくてもいいことで争う結果を招くことがあります。

私は先輩から「言葉は何のためにあると思う」と問われたので、すかさず「言葉は相互理解のためにあると思います」と答えると、「藤田君は若いな」と言って笑われたことがあります。少しムカッときた私は、先輩に「言葉は何のためにあるのですか」と強く反発しました。

すると、先輩は「怒ったのか、よく聞けよ。言葉は確かに相互理解のために生まれたものだ。地球上の生きものの中で、人間ほど言葉を駆使して相互理解に努めているものはないだろう。ところが現実は、人間ほど言葉の行き違いで争っている生きものはいないよ」と言われたのです。

しばらく考えてみましたが、先輩の問に上手に答えられません。そこで「じゃあ、先輩は言葉は何のためにあると考えておられますか」と問いました。

先輩はニヤッと笑って「皮肉だけどな、言葉は相互誤解、相互不信のためにあるのではないか、俺は時々本気でそんなことを考える」と言われ、しばらく間をおいて、「本当は、この耳に問題があるんだよな」と言われたのです。

私は「なるほど」と思いました。

相手の言葉と自分の耳との間に、猥雑なものがたくさん入ってくるのです。自分の都合、先入観、相手の値踏みなどが障害物になっているのです。

智慧の耳は、何も遮ることのない広い世界のこと、遥かなる昔のこと、そして小さな声もありのままに聞こえる耳、そんな耳の持ち主にしてやりたいというのが第七願を誓ってくださる阿弥陀仏のこころです。
（『四十八願を語る　上』藤田徹文著〔探求社〕）

仏法を聞くとは、仏さまの心をありのままにお聞かせいただくということです。しかし、私たちは、物事をありのままに聞くことが難しいものです。私たちは、ひとつの事実を、それぞれが、それぞれの聞き方で聞いていくからです。そして、その違いによって苦しみを受けます。法蔵菩薩は、そうした有り様を悲しまれ、この願いを建てられたのです。

Photograph Collection

仏教婦人会報恩講法座

お斎弁当とおさがり

法座前のひととき

お斎弁当の準備風景

土曜学校ほうおんこう

親鸞さまの前でお焼香

みんなでおつとめ

除夜の鐘

寒さに負けず走る『親鸞さま』の絵本

報恩講法座

高座での節談説教をお聴聞

お斎弁当

庫裏でのお斎接待

お斎弁当とおさがりの
準備風景

ゆうちょ銀行振込口座

安全面の観点から、ホームページ掲載のPDFには口座情報を載せていません。
お振込みをご希望の方は、お寺までお問い合わせください。

ご寄付は随時お預かりしております。

PayPay でのお納め（本堂・庫裏内）

本堂・庫裏内では、PayPay でも「お賽銭／お布施／ご寄付」をお預かりできます。操作が不安な場合は、お気軽にお声がけください。

※ PayPay は 本人確認済みのアカウント のみ ご利用いただけます。

2026（令和 8）の年賀状

庫裏っく

◆今年は午年です。馬は臆病なので、調教するときは決して叱ってはいけないそうです。
◆今年も、お念仏を称えつつ、諸仏が見捨てた「駄馬」の私を、辛抱強く、教えにより調えてくださった、阿弥陀仏のお慈悲を、全世界のみなさまと一緒に、お聞かせいただきます。

ご寄付について

- ご寄付は 随時 お預かりしております。
- 個人名／団体名 でのご寄付（ご寄進）をご希望の場合は、事前に住職までご相談ください。

WEB 賽銭箱

ホームページから「お賽銭／お布施／ご寄付」をお預かりできます。
（クレジットカード利用可）

ホームページの「WEB賽銭箱」ページをご覧ください。

ホームページ　YouTube　Facebook　Instagram　公式 LINE　X